



## Press Release

### ロングリーチグループ 富士通コンポーネント株式会社に対する公開買付け成立

【東京 / 香港 2018年9月7日】 独立系投資会社ロングリーチグループ(以下、「ロングリーチ」)が運用する投資ファンド傘下にある投資主体が保有する特別目的会社であるFCホールディングス合同会社(以下、「公開買付者」)は、富士通コンポーネント株式会社(東証2部: 6719、以下、「富士通コンポーネント」)の株主を公開買付者及び富士通株式会社(以下、「富士通」)のみにするための一連の手続きにおいて、富士通コンポーネントの普通株式に対する公開買付け(以下、「本公開買付け」)を2018年7月27日より実施しておりましたが、本公開買付けが昨日成立いたしましたので、お知らせいたします。

応募株券等の総数は、買付予定数の下限(1,713,900株)以上の2,755,005株となりました。この結果として、公開買付者における富士通コンポーネントの総株主の議決権総数に対する所有比率は18.83%となります。

本公開買付けは2018年7月27日より2018年9月6日まで実施されました。公開買付けに応募された株券等の決済は2018年9月20日から開始されます。なお、富士通コンポーネントの株主を公開買付者及び富士通のみにするための手続きの一環として、本公開買付け成立後に富士通コンポーネントが株式併合の手続きを実行することが予定されており、その場合には、富士通コンポーネントの普通株式は東証2部の上場廃止基準に従い、所定の手続きを経て上場廃止となる見込みです。

###

#### ロングリーチグループについて (URL: <http://www.longreachgroup.com/>)

ロングリーチグループは、日本における戦略的プライベート・エクイティ投資を目的とした事業支援投資会社です。対象分野としては、日本における産業テクノロジー、コンシューマー関連、ビジネスサービス、金融サービスの各分野が中心となります。また、共同投資分を含め合計で約19億ドル規模の3ファンド(第1号・第2号・第3号)を運営しており、過去これらのファンドを通じて、様々な投資案件を手掛けてきた実績を有しております。

ロングリーチグループは、投資主体となるファンド並びに香港拠点のロングリーチグループ・リミテッドおよび東京拠点の株式会社ロングリーチグループにより構成されるグループです。東京拠点の株式会社ロングリーチグループは、日本およびアジア市場に関するデータや情報を収集し、投資ファンドが投資案件の発掘調査を行うためのコンサルティング業務を提供しています。

ロングリーチグループは、投資先企業の皆様との信頼関係を基に多様なソリューションを提供することを通じて、企業価値の創出に積極的に取り組んでまいります。